

(2) 情報モラル部

① はじめに

情報モラル部の前身となる、令和3年視聴覚・情報部会では当初、タブレットについて厳しいルールを作成し、生徒達に正しいタブレットの使い方、情報モラルを付けてもらおうという話が出ていた。しかしながら、「抑えつけるだけではタブレットの活用に支障が出る。」という意見が出始めた為、令和3年は基本的なルールだけを提示してタブレットの使用をしていった。そのうえで、私用上問題となった部分をルール化し、改変を繰り返していくこととなった。

情報モラル部の方針として従来の「情報モラル教育」から、責任を持ってタブレットを使い、これからのデジタル社会に参画する技術や課題解決能力を身に付ける新しい教育「デジタル・シティズンシップ」を研究し、少しずつ教育現場にいかせるようにしたいと考えている。

② 情報モラル部の活動報告

ア Teams 作成によるルール制定

すべてのクラス・教科のチームを必須、委員会・部活動等は任意のチーム作成とした。

現在、約50のチームが存在しており生徒は必要なチームのみに参加し、授業や教育活動に生かしている。(別紙①)

イ 生徒のタブレットのルールの制定

昨年度、1年間生徒の使い方をもとに作成し、本年度当初から生徒に共通理解として配布。

また、ルールはあえて厳格には制定をしていない。これは、生徒のチャットのルール等を厳格に制定することにより、「デジタル・シティズンシップ教育」の妨げとなるためである。

生徒にはあえて色々失敗してもらい、失敗した際に、生徒自身に「何がいけなかったのか、どうしたらよかったのか」を考えて貰い、自らの行いに責任を持ち、倫理的に振舞う能力やスキルを育成するという形をとった。(別紙②)

ウ e-ネットキャラバンの講座実施

近年、生徒たちが容易にインターネットに触れる環境が整い、これからの時代を生きていく生徒達にとって、インターネットは切っても切れないものとなっている。その為、生徒達にインターネットを使用するうえでの正しい知識を身に付ける必要がある。それには授業だけでは限界があると感じたため、情報モラル部ではより安全に正しくインターネットを使ってもらう為、e-ネットキャラバンの講座を設定した。また、「インターネットは危ない、危険である」という啓発ではなく、「使ってみて失敗して危ないなと感じて、どう使うのが良いのかを考えて覚える」という啓発運動になるよう注意し、あくまでも「情報モラル教育」ではなく、「デジタル・シティズンシップ教育」の一環として講座を開いてもらうようにした。

③ おわりに

生徒たちの取り巻く環境は年々激しい変化をしている。つい最近までは「情報モラル教育」が当たり前であったが、近年ではそれを見直し「デジタル・シティズンシップ教育」に考え方がシフトしてきている。我々教職員は、「抑制・他律・心情規範」から「活用・自立・行動規範」の考え方を考え直す時期が来ているのだと、今回の委嘱研究で気づき今後も研究をしていく事柄であると改めて認識させられた。

タブレット使用について

視聴覚・情報部会

1、タブレットの設定について

タブレットの設定は初期設定から変更しない。ただし、やむを得ない理由により変更をする場合は必ず申告すること。

(例：デスクトップ画面、Teams のアイコン、マウスポインタ等の設定)

2、タブレットの使用について

- ・授業中は教師の指示に従い使用し、必要のない時は使用しない。
- ・タブレットは授業後にすみやかにタブレット保管庫に戻す。
- ・休み時間にはタブレットの使用は基本的にはしない。ただし、課題提出等でやむを得ない事情は除く

3、アプリ等のインストールについて

学校側から指示されたもの以外のアプリ等は無断でダウンロードを行わない。

4、タブレットの保管について

- ・登校したら、すみやかに保管庫にタブレットを保管すること。
- ・タブレットを使用しない時はロッカーや机の中には入れず保管庫にて保管する。

5、タブレット持ち帰りについて

- ・基本的に毎日持ち帰るものとする。

6、家庭での使用について

- ・タブレットは学習の為に貸与されているものであり、それ以外の用途には使用しない。
- ・家庭での利用の際は、各家庭の通信環境を利用すること。
- ・駅構内やコンビニ等のフリーwi-fi には接続しないこと。

7、個人情報について

- ・個人に付与されたアカウントを管理し、第三者が無断でタブレットを使用しないこと。
- ・指定されていないクラウドサービスを使用しないこと
- ・インターネットに個人情報を書き込まないこと。

タブレット年度初め作業について

視聴覚・情報部会

年度初めに各担当でチームの作成をしてもらいます。自分の該当する部分のチームを作成し、円滑に学期がスタートするようお願いします。チーム作成方法等については別紙を参照してください。

1、クラスのチームについて（必須）

クラスのチームは各担当が学級開きをしたら、チームを作成し生徒を追加する

チーム名：RO年O年O組

チームに入れる人：学級担任、学年職員、管理職、視聴覚主任、クラスの生徒

2、授業のチームについて（必須）

各教科担当は授業開き等で、チームを作成し生徒を追加する。

チーム名：【教科名】O年O組、【教科名】O年O組A

チームに入れる人：教科担任、管理職、視聴覚主任、クラスの生徒

3、部活動のチームについて（任意）

部活動でチームを作成したい場合は任意で作成してください。

チーム名：OOO部

チームに入れる人：部活顧問、管理職、視聴覚主任、部活生徒

4、委員会のチームについて（任意）

委員会でチームを作成したい場合は任意で作成してください。

チーム名：RO年OO委員会

チームに入れる人：委員会の先生、管理職、視聴覚主任、委員会生徒

5、不登校生徒のチームについて（任意）

不登校の生徒と密に連絡をとる為に利用したい場合は作成してください。

チーム名：任意

チームに入れる人：担任、学年職員、管理職

6、その他のチームについて

その他は何かチームを作成したい場合は、視聴覚主任又は学年の視聴覚担当にお知らせください。